



# 目白大学 新聞

第四〇号  
二〇一六年二月二十五日

編集  
目白大学社会学部  
〒一六一八五三九  
新宿区中落合四一三二一  
TEL  
〇三三五九六三三三〇

**Index**

**2面**  
特集  
**下町のこだわり 新井薬師**

- ・メス牛が美味しい「ミートブラザシジマ」
- ・「東京友禅」とは？
- ・「目の薬師」梅照院

**3面** コミュニティーの頑張り

- ・トキワ荘プロジェクト
- ・赤塚不二夫 誕生80周年
- ・ロケ地としての目白大学
- ・墨田区アートプロジェクト

**4面** グローバルへ羽ばたく

- ・「伝える力を次世代へ」柴田教授インタビュー
- ・アフリカに帰る理由
- ・イギリスの「ミュージアム」
- ・LGBTといかに向き合うか

## 目白大学 コンペで 賞受賞!

「大学対抗企画プレゼンテーション演習」で昨年12月、目白大学経営学部経営学科の井上綾野ゼミが優勝した。今回の演習ではトヨタ自動車株式会社と協力、プレゼンのテーマは「オリンピック・パラリンピック東京大会に向けてトヨタらしい社会貢献活動のプログラムを企画する」というものだった。また、京都市で昨年11月開催されたユースエンタープライズ・トレードフェアで、社会学部メディア表現学科の原克彦ゼミが「異能工房賞」を受賞した。

## 井上ゼミ プレゼン大会で 優勝!

目白大学で昨年12月5日に行われた大学対抗のプレゼンテーション大会で、本学の経営学部経営学科、井上綾野教授のゼミが見事に優勝した。今回で8回目を迎える本大会は、目白大学と江戸川大学、そして企業が共催する企画となっている。昨年は麻布大学も加わり、3大学チームがトヨタ自動車株式会社からプレゼン発表の機会を得た。

同日、同社との質疑応答に臨み、活発な議論を繰り広げた。テーマは「食に関する知恵の伝承」で、「幅広い層が参加できるイベント」を企画する中で、井上ゼミのテーマは「パラリンピックでの障がい者支援」というテーマを展開した。ゼミ生は現状分析、企画提案、まとめの3項目に分けて発表。パラリンピックの認知度は高いにもかかわらず、参加対象である障がい者の認知の低さや、パラリンピックへの参加意識が低いことが目立つことや、個人が負担する年間活動費や、企業における障がい者の雇用率が高くないことが問題点として挙げられた。その改善方法として、トヨタが費用の援助を行い、練習場所を提供するなど、選手に寄り添ったサポートをする。さらに「チャレスポ! TOKYO」という既存のフェスティバルにおける、開催規模やメディアによる宣伝の拡充を提案した。その他障がい者の雇用制度の確立と、従業員が中高生を対象とした授業を行うことで、問題であった認知度を上げ関心を高めることも提案した。最後に、この企画は「リーダー企業であるトヨタから



優勝の賞状と景品を手にする井上ゼミ3年生の神永春樹さん

からできる」という強いアピールで発表を締めくくった。井上ゼミのプレゼン発表は、下調べや分析が充実していた。資料を見ただけでも内容が分かるほど細かい項目立てになっており、誰が見ても納得できる発表内容であった。分析がしっかりしていたため、提案も活きたのではないだろうか。審査員の評価も高く、「社会人としても通用する」、「構造的な分析がしっかりできており、アクションへときちんと落とし込めていた」と高く評価された。

経営学部3年生で、井上ゼミのチームの一員である佐藤優乃は「経営学部3年生で、井上ゼミのチームの一員である佐藤優乃は、この賞は実際に起業するものに応援したいチームに贈られるもので、この受賞で原ゼミはトレードフェア5回連続入賞を果たしている。

## 原ゼミ トレードフェアで 5回連続入賞!

京都市で昨年11月開催されたユースエンタープライズ・トレードフェアで、社会学部メディア表現学科の原克彦教授のゼミが「異能工房賞」を受賞した。この賞は実際に起業するものに応援したいチームに贈られるもので、この受賞で原ゼミはトレードフェア5回連続入賞を果たしている。

「今話題の近畿大学、女子大では実力派の同志社女子大学、愛知学院大学などの大学から仮想企業28社が参加し、6社が入賞している。準備に手間取りながら、本番まで商品制作に追われまじながら、本番で強い原ゼミの諸君の奮闘が入賞を支えました」と、原教授は振り返る。

このフェアは、国際化・情報化時代の「Think Globally, Act Locally」の理念をもとに「自ら仕事を創造できるアントレプレナーシップ（起業家精神）溢れる若者の育成」を目的として2001年より実施されている。参加者はそれぞれパーソナル・カンパニー（仮想企業）を設立し、環境や福祉、まちづくりなど身近な社会的課題をテーマとし、自ら発案したアイデア商品を持ち寄り、地域への支援企業と一緒にブース展示や販売活動、プレゼンテーションを行う。

原ゼミは、バーチャリアリティ（VR）技術を取り入れた子ども向けの教材を提供する「まなbo」を仮想的に起業。360度が見える映像や算数・国語などの教材を開発し、手作りのVRめがねとともに、それらに関するプレゼンテーションを行った。



トレードフェアで入賞した原ゼミ生たち

「楽しい遊びのために」この「まなbo」の事業目的は、VR技術を用いることで普段の教科書などの紙面での勉強では感じられない、臨場感を伴った教材を開発することだ。つまり、自らVRを体験して新たな発見をする。もちろん、勉強を「まなbo」から「おもい」に「楽しい」に変え、子どもたちに新しい学びを提供することだ。また、大人にも手軽にVR体験ができることを知ってもらって、その事業目的であった。

VRを体験するには「めがね」が必要である。そのめがねは、VRめがねを使用し、2つの動画を人間の視野を利用して演出する。そのVRめがねによって立体感

が生まれ、臨場感が味わえる仕組みになっている。市場では高価なVRめがねは販売されているが、段ボールを使うことによって誰もが簡単に組み立てることができる。さらに手持ちのスマートフォンでも、VRが簡単に体験できる。「HONJO」(本フェアの協賛企業)というアプリケーションをインストールすれば、手持ちのスマートフォンに入っている動画がVR仕様になる。さらにYouTube上でも「まなbo」の映像を公開している。VR「HONJO」を使用した際の教材を見ることが可能。

**苦労した点**  
実際に開発するにあたって苦労した点を挙げるなら、本番

香さんが、本大会をこう振り返った。「私たちのメンバーは8人と、他のチームが3〜4人であるのに対して人数が多かったため、活動内容を振り分けて作業をするのができた。しかし、人数が多いことで互いの意見がぶつかり合うことが多かったと思う。ゼミ内で競ったり、話し合ったりの繰り返しを重ね、よりよいプレゼンを目指していた分時間も足りず、当日ギリギリまで原稿の手入れをしていた。今回の経験を踏まえてプレゼン能力の向上を実感できた。それから私たちが他大学では着眼点

全く違つたのだという、大きな発見をすることもできた」

プレゼンテーションでは、聞いている人が100%理解できるように話し方、進め方をすることが肝要だ。大会総評の際、ある審査員は「空振りをしたとしても、打席に出なかったら評価はされない。とにかく一生懸命にやること、バッテリーボックスに立つことが大事なこと」と、各チームの学生たちを激励した。

(編集部3年 海野由江)

## 10周年を迎えた 看護学部看護学科

目白大学岩槻キャンパス(さいたま市岩槻区)にある看護学部看護学科が2015年に創設10周年を迎えた。同学科は看護に必要な専門的知識と技術を教え、実践力のある看護師、保健師の養成を目指してきた。節目の今年度、同学科長の堤千鶴子教授にこれまでの歩みと将来について語っていただいた。

**看護学部看護学科**  
は、2006年4月に岩槻キャンパスに誕生し、お陰様で10周年を迎えることができました。この間、大学院研究科修士課程と認定看護師教育課程を併設し、卒業後も学びを継続できる一貫した看護学教育の組織を作り上げてきました。これ、その意に込められた岩槻龍子初代学部長の「尽力の賜物でありました。教育の要となる実習病棟の確保においては、多くの困難が予測された中、ハビリテーション看護89名が果立っていきました。発足当時、保健・医療・福祉の分野は、少子高齢社会の

進展に伴う多岐にわたる変化の連続でした。めまぐるしい医療制度の改革や、それに伴う看護学基礎教育の教育課程の改正も続きました。その中で、当時珍しい病棟を持たない看護師の教育機関としてスタートを切りました。この決断は佐藤弘毅前学部長が下さり、その意に込められた岩槻龍子初代学部長の「尽力の賜物でありました。教育の要となる実習病棟の確保においては、多くの困難が予測された中、ハビリテーション看護89名が果立っていきました。発足当時、保健・医療・福祉の分野は、少子高齢社会の

また、発足当時から、本学の建学の精神である「主・師・親」の精神を受け、人間形成を重視し、理念として受け継いできました。卒業生の就職先などから、対人関係形成能力や、自立した意見を述べる力が評価され、礼拝しつづけること、この先の看護学科をどう見守って頂きたいとお願い致します。

この10年間は多くの皆様から数えきれないご支援をいただきました。あらためてお礼申し上げます。この先の看護学科をどう見守って頂きたいとお願い致します。

また、発足当時から、本学の建学の精神である「主・師・親」の精神を受け、人間形成を重視し、理念として受け継いできました。卒業生の就職先などから、対人関係形成能力や、自立した意見を述べる力が評価され、礼拝しつづけること、この先の看護学科をどう見守って頂きたいとお願い致します。

また、発足当時から、本学の建学の精神である「主・師・親」の精神を受け、人間形成を重視し、理念として受け継いできました。卒業生の就職先などから、対人関係形成能力や、自立した意見を述べる力が評価され、礼拝しつづけること、この先の看護学科をどう見守って頂きたいとお願い致します。



段ボールで誰でも簡単に作ることができるVRめがね

2ヶ月前までは漫然とゼミ時間を過ごしてしまい、ゼミ生の意見がまとまっていなかったことだ。本番2ヶ月前まで緊張感がなく、本番当日まで作業をしてきたため、全体的に計画性が欠けていた。

また、当日ブース展示や販売を行ったが、京都での開催であったため、関西人の来場者との距離感を上手にかかむことが難しくかった。販売開始時は他企業よりも忙しかったと思うが、売り込みや呼び込みが思うようにできていなかった。原ゼミ生の一員として誇りに思う。(社会学部メディア表現学科 3年 船戸朋彦)

また、発足当時から、本学の建学の精神である「主・師・親」の精神を受け、人間形成を重視し、理念として受け継いできました。卒業生の就職先などから、対人関係形成能力や、自立した意見を述べる力が評価され、礼拝しつづけること、この先の看護学科をどう見守って頂きたいとお願い致します。

**目白大学 新聞**  
編集長  
小杉百合香  
編集部  
浅見住那子  
石田祐衣  
海野由江  
太田さらさ  
竹原可奈子  
辰口貴子  
塚越優  
堀内結菜  
柳原千穂

# 新井薬師特集

西武新宿線中井駅からたった一駅の新井薬師は、目白大学から徒歩でも行ける近さにありながら、なかなか足が向きにくいのではないだろうか。だが大手チェーン店が軒を連ねる昨今の東京で、この街は地元住民の生活に密着した個人商店が多く、下町のこだわりを感じさせる商店街が広がっている。本紙はそのような個性的な店に焦点をあて、そのこだわりを探った。また新井薬師の代名詞ともいえる梅照院にも赴いた。その不思議な歴史とご利益とは、いかなるものなのか。



**ミートプラザニシジマ**  
●住所：〒165-0026 東京都中野区新井5-16-2 ●電話：03-3386-2980 ●営業時間：10:00～19:00  
(定休日：毎週金曜日・1月1日～4日) ●アクセス：西武新宿線 新井薬師前駅 南口 徒歩2分  
**あらた工房**  
●住所：〒165-0026 東京都中野区上高田3-10-3 ●電話：03-3386-2792 ●営業時間：10:00～19:00  
(要予約・不定休) ●アクセス：西武新宿線 新井薬師前駅 南口 徒歩5分  
**真言宗豊山派 新井薬師 梅照院**  
●住所：〒165-0026 東京都中野区新井5-3-5 ●電話：03-3386-1355 ●参詣時間：9:00～17:00  
●アクセス：西武新宿線 新井薬師前駅 南口 徒歩5分



肉の種類が豊富なミートプラザニシジマ

肉にも格付けがあると聞きます。それだけ色々な部位を売って、色々な食べ方を提供して、お客様に肉の本当の美味しさを楽しんでもらおうというのが、店の一つのコンセプトでもあります。

肉にも格付けがあると聞きます。それだけ色々な部位を売って、色々な食べ方を提供して、お客様に肉の本当の美味しさを楽しんでもらおうというのが、店の一つのコンセプトでもあります。

**新** 創業80年の老舗精肉店「ミートプラザニシジマ」その代表取締役社長である西島武彦さんと、娘の西島かなこさんに、行列ができる精肉店のこだわりや美味しい肉を販売するための秘訣を聞いた。

創業からこだわっていることはありますか？

昭和9年に創業で父が19歳で始めました。私は2代目なのですが、父は美味しいものへのこだわりが大変強く、特に国産の黒毛和牛に注目し、そこに特化した店づくりを始めました。黒毛和牛は日本の和牛の中一番美味しい肉の品種で、その中でも松坂牛は一頭何千万円もする、それぐらい高級な肉です。牛肉にはたくさん種類がありますが、私の店の場合は、約40種類の小売店舗の数を倍の量で販売しています。5mくらいのショーケースの中でそれほど販売しているところは少ないと思

**「旨みがギュッとやぱり美味しいのはメス牛」**  
老舗精肉店「ミートプラザニシジマ」



冷蔵庫で熟成中の牛肉の前でほほえむ西島社長

普通の問屋では、だいたい屠畜の後に、1週間以内には全部解体して真空パックしてしまします。真空パックの何が悪いのかというと、真空パックすると熟成の進みが遅くなり、熟成が止まります。一種の冷凍するような形になるわけですね。

私の店では、ある程度うちの冷蔵庫で熟成させて自分のところで解体します。そして売るときは一気に全部売ります。熟成と言っても長時間の熟成はさせていないため、そんなに量が減らないです。うちでは普通の問屋がしている3日とか4日とかの解体はせず、1週間2週間おいて骨を外しています。牛のロースのように、ステーキにするようなところは骨つきのまま1週間ぐらい冷蔵庫ですと熟成させ、売るときに骨を外してそのまま販売しています。だから

肉にも格付けがあると聞きます。それだけ色々な部位を売って、色々な食べ方を提供して、お客様に肉の本当の美味しさを楽しんでもらおうというのが、店の一つのコンセプトでもあります。

肉にも格付けがあると聞きます。それだけ色々な部位を売って、色々な食べ方を提供して、お客様に肉の本当の美味しさを楽しんでもらおうというのが、店の一つのコンセプトでもあります。

「東」 京友禅と聞いて何ぞイメージされるだろうか。楽しんでみたいと佐藤さん。現在佐藤さんが最も危惧しているのは、「自分が経験していないことばかりで次世代に伝えられない」ということ。今や量のある部屋で着物を持たせると少なくなっていきます。また、どのような機会に着物を着るのかわからないという若い方もいらっしゃいます。小さい頃からの習慣や知識が乏しいため、着物という日本の伝統文化が廃れてしまいかもれないです。若い人々に着物を着るきっかけや場所を提供しなければと考えています。

佐藤さんが運営する東京友禅の着物工房「あらた工房」。新井薬師の住宅地に隠れ家のように行む。

2015年12月初旬、日本の冬景色をクリスマステーマにした作品の展示する「桜の会」が開催された。工房には、星雲やサンタクロースなど、若い人々が興味を持つような可愛らしい図柄が数多く展示された。

着物は日本の四季を表す文化の源であり、図柄や素材などで、徐々に依頼主の希望や気持ちに。

**「新井薬師で見つけた「東京友禅」**  
着物工房「あらた工房」

「西」 武新宿線新井薬師前駅から徒歩10分。閑静で緑豊かな住宅街の一角にひっそりとたたずむ梅照院。梅照院は真言宗豊山派の寺院で、正式名称「新井山梅照院王寺」という。境内の一部が公園となっていることもあり、家族連れの姿もよくお見かけします」と語る寺主、境内も通り道として使われていて、いかにもお寺という門構えではない。地元の人や、初めて訪れた人にも馴染みやすく、誰もが気軽に足を運べる。



「あらた工房」で佐藤さんと東京友禅

**梅照院の不思議な歴史**  
梅照院のウエブサイトを見ると、同院の建立には実に不思議な伝説が関わっていることが分かる。同院の本尊は、薬師如来と如意輪観の御尊像である。この御尊像は鎌倉時代の代表的な武家である新田家に代々伝わる守護仏であった。しかし、鎌倉時代から南北朝にかけての戦乱のさなかに消え失せてしまった。その後、相模国から行春と

「西」 武新宿線新井薬師前駅から徒歩10分。閑静で緑豊かな住宅街の一角にひっそりとたたずむ梅照院。梅照院は真言宗豊山派の寺院で、正式名称「新井山梅照院王寺」という。境内の一部が公園となっていることもあり、家族連れの姿もよくお見かけします」と語る寺主、境内も通り道として使われていて、いかにもお寺という門構えではない。地元の人や、初めて訪れた人にも馴染みやすく、誰もが気軽に足を運べる。

**年間行事**  
正月の初詣から始まり、2月には節分会で著名人を呼んで豆まきをしている。3月には彼岸

**さまざまなお利益**  
薬師如来は病氣治療、健康長寿の神様として知られている。地元の人だけでなく、遠方からも家族の健康や持病からの回復を願ってやってくる人も多そうだ。病氣の中でも特に眼病に良いとされている。徳川幕府第1代将軍・秀忠の第五子利和の方（東福門院）は重い目の病気に悩まされていた。あらゆる寺院で祈ってみたものの一向に治らな



梅照院の境内。平日でも多くの人々が訪れる

「西」 武新宿線新井薬師前駅から徒歩10分。閑静で緑豊かな住宅街の一角にひっそりとたたずむ梅照院。梅照院は真言宗豊山派の寺院で、正式名称「新井山梅照院王寺」という。境内の一部が公園となっていることもあり、家族連れの姿もよくお見かけします」と語る寺主、境内も通り道として使われていて、いかにもお寺という門構えではない。地元の人や、初めて訪れた人にも馴染みやすく、誰もが気軽に足を運べる。



Burkina Faso

# 「アフリカの水を飲んだ者はアフリカに帰る」

この諺を聞いたことがあろうか。アフリカの地を訪れた者は、再びその地を訪れることになるという意味である。半信半疑で耳にしたこの諺だが、どうやら私も少し近頃はまのあたりにあつた。



アフリカの子供たちにダンスを教える本間教授

かにも貧困なアフリカのイメージが先行するだろう。しかし、現地生活する人々には、それぞれの人生ドラマがあり、「清潔な水」という名に恥じず、人々は真面目で陽気に生活している。それは貧困なアフリカという画一的なイメージを覆すには十分であった。

という願いがあるからだ。アフリカの水を飲んだ者はアフリカに帰る」というが、若くはない私が、実際にアフリカの地を再び訪れるかは分からない。しかし、ブルキナファソの少年少女を日本に招待しようというプロジェクトに微力ながら協力しているという点では、この諺は正しいのかも知れない。

## Interview 「伝える力」を次の世代に

大学卒業後、日本の某銀行に就職。ドイツに5年、イギリスに15年、合計20年もの海外勤務を経て2012年より日自大学英米語学教授に就任。ビジネスの世界から一転して、なぜ大学の教師に就いたのか。その理由は、長年積んできた海外キャリアから学んだことにある。

### 「日」

本人は発音力が弱い。海外勤務中、本人でもなく両親も外国語を学ぼうと思わなかった。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

柴田先生は日本生まれ日本育ち、帰国子女でもなく両親も日本人である。そんな先生が外国語を学ぼうと思わなかったのは、子供の頃の話に遡る。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

柴田真一 教授  
日自大学 外国語学部 英米語学部長・教授  
NHKラジオ「入門ビジネス英語」講師

古くはTシャツを送っただけの、小さな国に送ったことがあった。ささやかな私一人だけのMOTMANIキャンペーンである。送る先の国の名前がブルキナファソ。一般的にはあまり聞き慣れない国名だが、恥ずかしながら、私はブルキナファソという国を知らなかった。

ブルキナファソのスポーツ省大臣の耳に入り、私にブルキナファソから招聘状を頂いた。そして2013年9月、初めてアフリカの地・ブルキナファソを訪れることになる。折角の機会だったので、私は自分の専門であるリズム体操を現地の子どもたちと行い、研究の一環として取り組んでみた。



ブルキナファソの柔道家たち

この機会に先自身も、外国人との会話で言葉不足になつてしまひ、自分の意図を相手に十分伝えられずにもどかしい思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

「伝える力」を次の世代に。柴田先生は日本生まれ日本育ち、帰国子女でもなく両親も日本人である。そんな先生が外国語を学ぼうと思わなかったのは、子供の頃の話に遡る。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

「伝える力」を次の世代に。柴田先生は日本生まれ日本育ち、帰国子女でもなく両親も日本人である。そんな先生が外国語を学ぼうと思わなかったのは、子供の頃の話に遡る。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

「伝える力」を次の世代に。柴田先生は日本生まれ日本育ち、帰国子女でもなく両親も日本人である。そんな先生が外国語を学ぼうと思わなかったのは、子供の頃の話に遡る。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

「伝える力」を次の世代に。柴田先生は日本生まれ日本育ち、帰国子女でもなく両親も日本人である。そんな先生が外国語を学ぼうと思わなかったのは、子供の頃の話に遡る。父親がニューヨークに転勤し、そこで3ヶ月間遊びに行った時、水道をひねればお湯が出る。ドブが自動的に開く、そんな当時のアメリカの進んだ世界に憧れを抱いた。アメリカ滞在後、ヨーロッパ経由で旅行しながら帰国した際にも、世界観が一気に広がった。海外に関心をもった。しかし同時に、言葉が通じない思いをするのが何よりも辛い。海外勤務中、2004年に初めて執筆した「金融英語入門。海外の金融ビジネス用語をまとめた本の出版に伴い、ビジネス英語に関する公演や執筆活動を国内ばかりか海外でも行うようになった。そのことを通じて伝えることの難さをあらためて痛感した。

## United Kingdom

# 「自由」なロンドン・ミュージアム

ロンドンの博物館や美術館、いわゆるイギリスの「ミュージアム」を昨年8月24日から30日にかけて巡り歩いた。近代ミュージアム発祥の地であり、大英博物館やビクトリア&アルバート博物館やミュージアム・ロンドン(V&A)ミュージアム、ロンドン自然史博物館など、イギリスには世界的に有名なミュージアムがいくつも存在し、いわゆるミュージアムの国といっても過言ではない。観光名所としても、毎日多くの人々が訪れている。驚きなのが、公立のミュージアムが無料であるということ。ここで挙げたミュージアムも全て無料だ。社会の全ての人々が利用できるよりの政府の方針によるものである。そのため大人から子供まで、多様な人たちの姿を見ることができた。

ロンドン市民にとって、ミュージアムは身近な場所と言えよう。ミュージアムといえは展示場所と見なされることが多いが、ロンドンでは様々なイベントにも利用されている。V&Aミュージアムでは毎月最終金曜日の夜にイベントが行われ、8月の最終金曜日はメインエントランスがDJブースに様変わりし、多くの若者がアルコール片手に談笑したり、踊ったりしていた。展示品に囲まれた一室を覗くと、新作ゲームの発表会なのだろうか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

## Column

### 学生コラム 「LGBT」といかに向き合うか

年、話題になった言葉のひとつが「LGBT」である。ゲイ、レズビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダーの略称で、性的多様性を肯定的に捉えるためのそれぞれの頭文字を取った言葉。元を辿れば1980年代ごろから使用されている。なぜか、LGBTが広く話題になっているのか。それは日本における初の同性間のパートナーシップを認める「渋谷区男女平等及び多様な性尊重に関する条例」が昨年4月に施行されたことが大きな契機となったといえる。日本で同性婚は認められていないが、この条例は男女の婚姻関係と異なる程度の事実婚を備えたものである。渋谷区に在住する20歳以上配偶者がいないこと、相手は近親者でないことを条件として同性カップルに対し証明書を交付している。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くなっていくに彼らと仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

筆者はLGBTのLとB、レズビアンとバイセクシュアルを公言している友人が複数いる。彼女たちは仲良くしてあげたい。LGBTの人々が喜ぶしやす社会環境を整備されつつあるといえる。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。



ビクトリア&アルバートミュージアムでのイベントの様子

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。

ロンドンのミュージアムから見る「自由」というのは、共通のルールを守りながらも、その中で「自由」に行動できることだ。それはイギリス流のミュージアムの利用の仕方なのか、設置されたモニターを前に対戦が行われていた。こういった光景は、まず日本では見られない。そこからロンドン流の「自由」といったものが垣間見られた。